

## 2月は『平和構築と紛争予防月間』

国際ロータリー第2590地区ガバナー 志村 雄治



新型コロナウイルス感染拡大は、約3年なかなか完全には収まらずに、今年に入って第8波になっているようです。しかし、基本的な活動は大きな制限なく実施できるようになり、ロータリーでも日常の活動が展開されています。

昨年12月25～27日まで3年ぶりにインターアクトの研修旅行を行うことが出来ました。今回は、以前行っていた海外研修ではなく四国・愛媛県今治での交流会を中心に第2780地区のインターアクトも参加して、四国第2670地区と3地区合同で様々な活動を行い、海外研修とはまた少し違った、蜜の濃い内容の充実した交流になりました。(IA海外研修の報告は月信9号3月号に掲載予定)



IA国内研修でD2670、D2780のガバナーと共に

私にとっては、地区インターアクト委員長をしていた2003年にタイ・パタヤビーチで、高校の養護教諭をしていた妻と共に「団長」として参加して以来19年ぶりに今回も妻と参加することが出来ました。若い世代の交流は、とても素晴らしく、ロータリーの考え方をしっかり身につけて、今後に生かして行ってほしいと思います。

昨年5月にZOOMで「インターアクト全国研修会」を我が地区主催で行いましたが、今年5月

には第2670地区が担当して研修会が実施されます。大いに期待しています。

そして、2月は23日がロータリー創立記念日で、118年目を迎えます。各クラブでも公共イメージ向上になるような活動を考えて頂きたいと思います。

さらに、「平和構築と紛争予防月間」です。昨年2月24日から始まったロシアのウクライナ侵攻は本当に驚きました。そして、それが1年も続くとは思いませんでした。ロータリーとしても、それに十分対処できないのが現状です。我が地区でも、今後できることを検討しています。特に、横浜・川崎地域には多くのウクライナから避難した方がいるようなので、その方々に対して何らかの支援ができないかと考えています。実施内容が決まりましたら、各クラブのご協力をお願いするかもしれませんので、ぜひよろしくお願いいたします。

今年のジェニファア・ジョーンズRI会長のテーマ「イマジン・ロータリー」は50年前のジョン・レノンの「イマジン」、国境や人種差別等をなくして平和を目指して行こうという考え方を基本にしています。これからロータリーの進むべき道は、平和構築と紛争予防についてのスペシャリストであるロータリー平和フェローが、全世界で活躍することによって少しでも紛争を予防して平和を構築していくことではないかと思っています。

昨年11月の地区大会の5人の日本人ロータリー平和フェロー学友の「平和フォーラム」はその方向性が示されたと思っています。彼らには平和に向けて何を大切にして、どう進めていくべきかについての学識が備わっていると思います。そし

て、何よりも素晴らしいのは、世界的な「ネットワーク」があることです。昨年の国際協議会のジェニファー・ジョーンズ RI 会長の最初のスピーチで、アフガニスタンからの平和活動家の国外退去に

ロータリー平和フェローのネットワークが役立ち、「マジック・オブ・ロータリー」と話されていたことが、今後全世界で展開されることを期待します。各クラブでも、いろいろ議論して頂きたいと思います。